

中国5G動向

(株) KDDI総合研究所
シンクタンク部門
康佳慧

1. サマリー

2. 概要

(利用者数/基地局構築状況/カバレッジ/平均速度/
データ使用量・5Gデータ使用量/周波数)

3. サービス内容 (コンシューマー向け、法人向け)

4. 端末

5. 料金プランとARPU推移

1. サマリー (1/2)

- 2019年11月から5Gが商用化、**2020年11月からMNO大手3社は5G SAを開始**
- 2022年8月までの5G契約数は9.78億件、**実利用者数は4.92億（人口普及率34.8%）**
- 中国広電は第4MNOとして、2022年6月27日に700MHz帯を用いて5G SAのテストを開始し、9月27日に正式参入



開始時期	2019年11月		
周波数	2.6GHz、4.9GHz、 700MHz（中国広電と共用）	3.5GHz	3.5GHz
エリア	<ul style="list-style-type: none"> • 2.6GHzと4.9GHz帯で都市部と農村部の大部分をカバー • 700MHz帯で全国カバー 	<ul style="list-style-type: none"> • 3.5GHz帯で都市部とビジネス・商業関係の室内地域をカバー • 2.1GHz帯でその他の地域をカバー • 農村部の全カバーは困難（中国移動・中国広電に700MHzの共用を要請） 	<ul style="list-style-type: none"> • 2.1GHz 共用 • 3.3-3.4GHz（屋内用、中国広電と共用）
通信速度	5G SA網は都市部100%、農村部96%の国土をカバー（2022年7月末時点）		
	DL : 355.31Mbps UL : 73.05Mbps	DL : 341.06Mbps UL : 71.94Mbps	DL : 309.42Mbps UL : 70.82Mbps
5G料金プラン 契約数/普及率	5.39億/9.73億（55.4%）	2.44億/3.88億（62.9%）	1.95億/3.2億（60.9%）
2022.08	5Gの実利用者数は4.92億、人口普及率34.8%		

出所：[中国移動](#)、[中国電信](#)、[中国聯通](#)、[CAICT\(中国信息通信研究院\)](#)など

1. サマリー (2/2)

- MNO4社の5G基地局は約210.2万局
- 中国広電の料金は大手3社よりやや低い価格帯に設定、最安プランは88元（データ容量30GB、通話100分）
- 消費者向けサービスは5G VoNRとクラウドゲーム、法人向けサービスはプライベート5Gを主軸に展開



基地局構築状況	210.2万局（2022年8月末時点の政府公表データ）		
データ使用量 2022.04	ユーザー一人当たり平均月間使用量 21GB ※各社別のデータ使用量は非公開		
端末	ハイエンド：（vivo x Fold+）9999元～ ローエンド：（MNO3社）約899-1449元、（vivo）約849元～		
料金プラン	128-598元/月		129-599元/月
サービス	消費者向け：5G VoNR、クラウドゲーム、AR読書、イベント限定AR体験 法人向け：MECと組み合わせたプライベート5G（製造、工業全般、鉱業、物流、政府、スタジアム等向け）		
ARPU (5G ARPU) 2022.06	52.3元 (85元)	46元 (52.7元)	44.4元 (非開示)
	※5G ARPUが料金プランの最低額より小さい理由：固定回線プラン加入者に無料で5GSIMをバラマキしたことがその原因の一部（5G料金プランの契約件数は5G実利用者数から5億件も乖離していることから）		

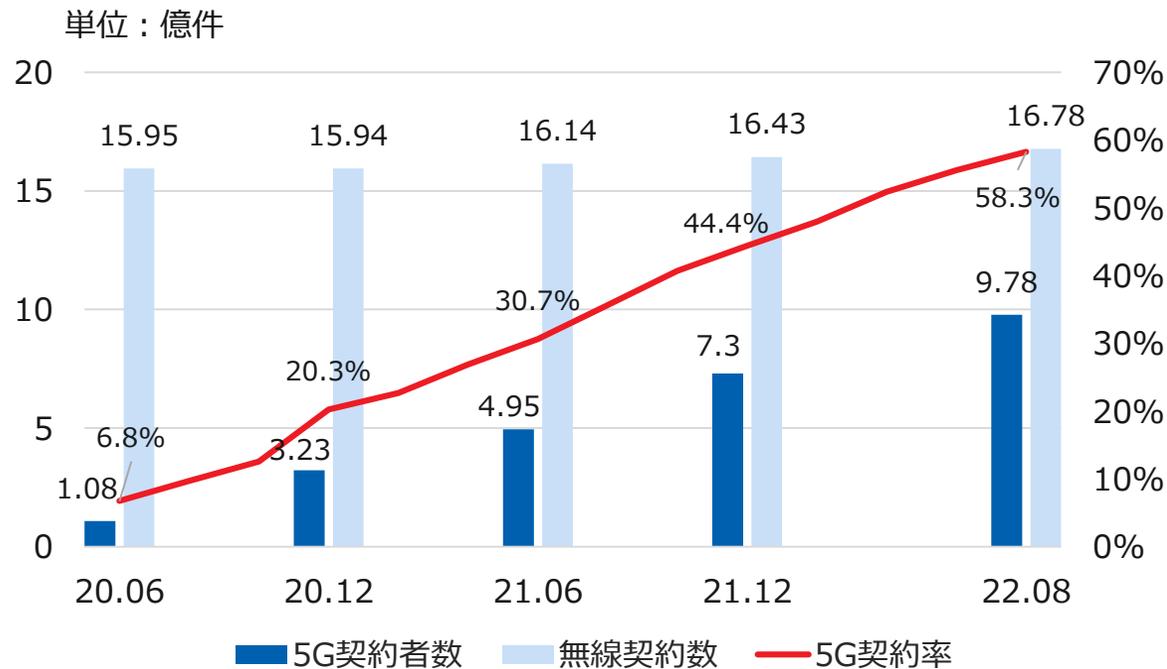
為替レート 1元 = 20.35円 2022年10月末時点でのTTMLレート

出所：各社のIR資料（[中国移動](#)、[中国電信](#)、[中国聯通](#)）、[工業・情報化部](#)、[CAICT](#)、スマホメーカーHPとスマホ・オンライン販売サイトの情報を基にKDDI総合研究所作成

2-1. 5G概要 加入・利用者数

- 中国のMNO大手3社は2019年11月に5Gを商用化
- 2022年8月時点の**5G料金プラン契約数は9.78億件**で、無線契約数の69%を占める
- 政府の発表では、同時点の5G実利用者数は4.92億、対人口割合34.9%（人口14.12億）

■ 5G契約者数と5G契約率の推移



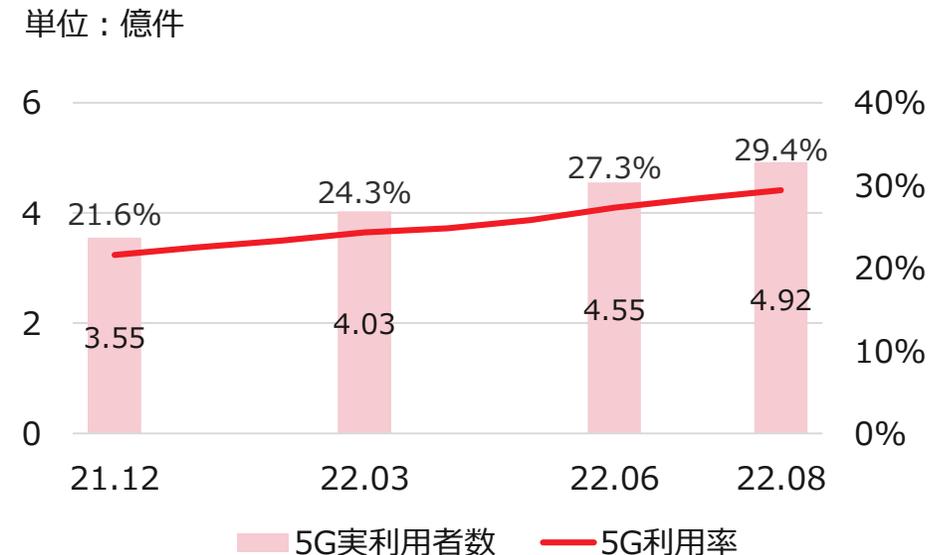
※2020年12月直前の5G契約率の急増は中国聯通が同月まで5G契約者数を公開しなかったからである。

出所：中国移動、中国電信、中国聯通、工業・情報化部の公表データを基にKDDI総合研究所作成

■ 5G実利用者数

中国政府は2021年末に、「5G契約数」に替えて「5G実利用者数」を発表

* 5G実利用者数とは、5Gスマホで5GNWに接続しているもののみを利用者として算出したもの



2-2. 5G概要 基地局構築状況

- 5G基地局数：2022年8月迄に合計210.2万局以上開通
 ※中国鉄塔が請け負った5Gインフラの97%はインフラシェア方式で構築（2022年6月迄に合計154.4万局請負）
- 2020年よりSA方式で構築しており、NSA方式の基地局はわずか数万局にとどまる
- 中国の基地局構築は、中国移动 & 中国広電と中国電信 & 中国聯通の2グループに集約
 →中国移动と中国広電は700MHzによる5Gネットワークを共同構築。2022年内に48万局で全国をカバーする見込み

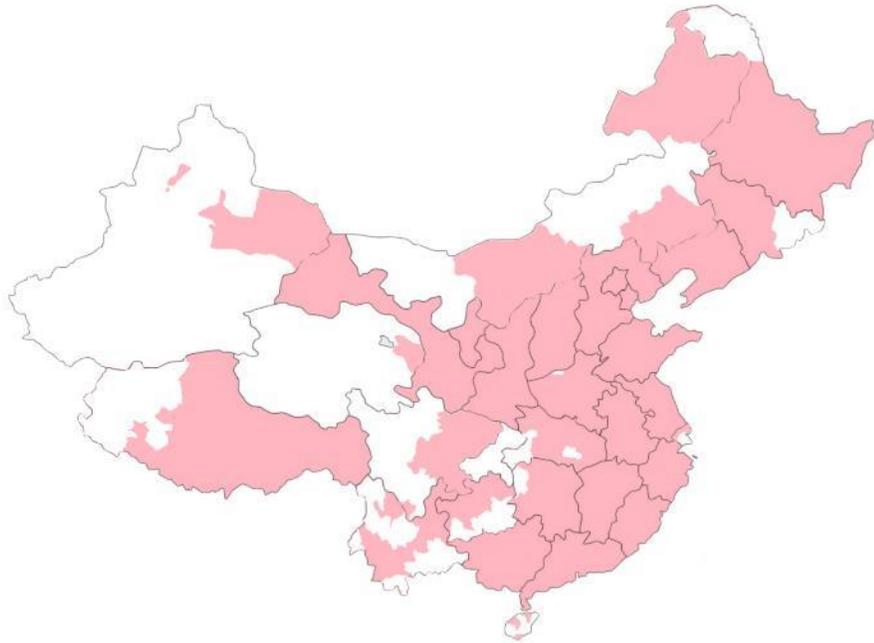
		中国移动	中国広電	中国電信	中国聯通
開局済基地局数		合計210.2万局（2022年8月末時点の政府公表データ）			
内 訳	2022年6月 (MNO発表)	100万局 (700MHzを含む)	30万局 (左記100万局に計上済み)	87万局	
	2021年	73万局（700MHzを含む）	700MHz 20万局	69万局	
	2020年	39万局	未構築	38万局（ 世界初の5GSA網の商用化 ）	
共同構築・共同利用		2020年5月に合意、2021年1月に契約締結 2021年9月に補足協議を締結（出資方法の変更）		2019年9月9日に契約締結	
概要		<ul style="list-style-type: none"> • 700MHz帯の5Gネットワーク • 中国移动の全額負担で整備 • 中国移动の2.6GHz帯を中国広電に有償で提供 		<ul style="list-style-type: none"> • 対象：3.5GHzと2.1GHz帯の5Gネットワーク • 投資支出額を累計1千億元（約1.7兆円）以上節減 • 年間117億kWhの節電（←4G+5G基地局の共同構築・利用） 	

出所：MNO各社IR資料と工業・情報化部データを基にKDDI総合研究所作成

2-3. 5G概要 カバレッジ

- 2022年7月末迄に5G SA網は都市部100%、農村部96%の国土をカバー（2022年8月、工業・情報化部発表）
ただし、室内のカバレッジ品質が課題とされている
- 5G通信の73%は屋内（住宅、オフィスビル、商業施設など）での利用と想定されており、室内での5G接続率の向上と通信容量の拡大がMNOの今後1-2年の主要タスクとなる

■ 5G SAカバーの都市部（で表示）



* 中国の通信事業者の5G SA網がカバーしている都市部のみを表す。
(中国の行政区画情報を基にKDDI総合研究所作成)

■ 5Gカバレッジの品質（2021年末）

※5G電波が届くところは有効な5G通信となり、5G電波が届かないところはLTEに接続する

場所	室内での5G接続率
室外（主要都市道路、人流の多い場所）	90%
室内（地下駐車場、エレベーター、階段などの閉鎖空間、環状道路、空港高速、地下鉄路線）	50%
新幹線沿線	10%

■ 5Gカバレッジ地域の人口

全国人口：14.12億人

都市部総人口：9.14億人

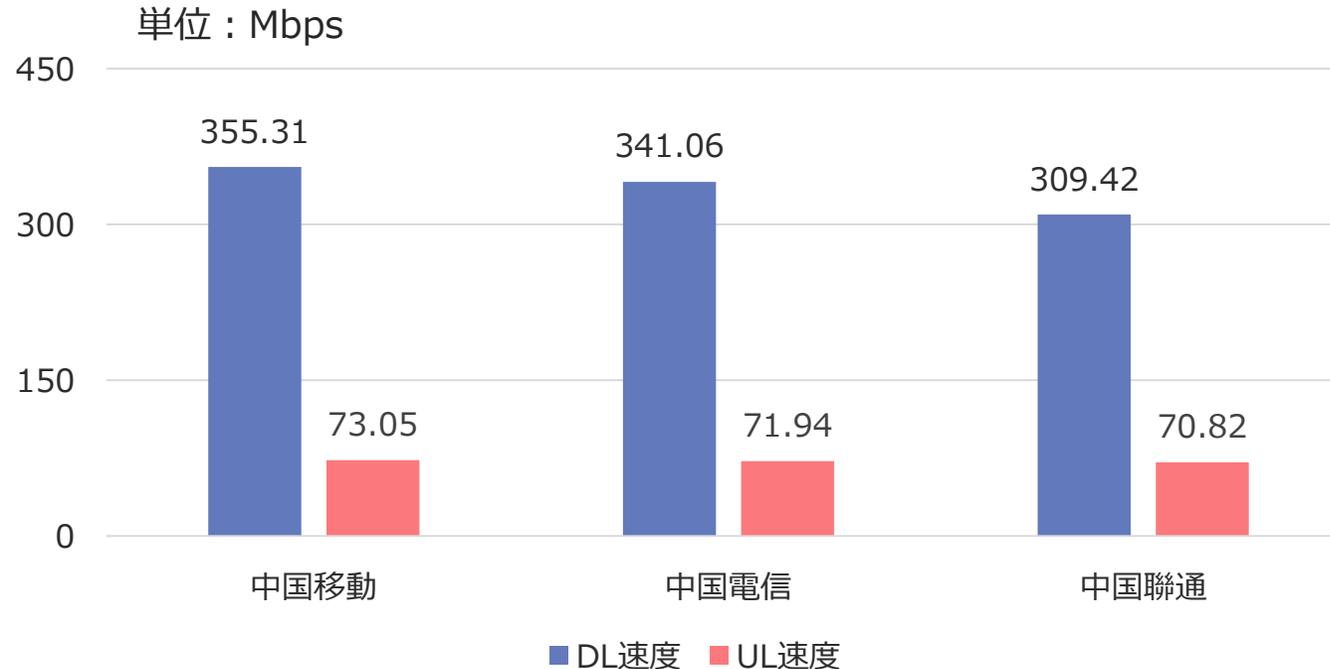
農村部総人口：4.98億人

出所：工業・情報化部、C114、通信世界網など

2-4. 5G概要 平均速度

- CAICTの実測調査によると、2022年6月時点のMNO大手3社の5G速度は、ダウンリンク（DL）は平均341.2Mbps、ピーク時は507.28Mbpsで、アップリンク（UL）は平均71.98Mbps、ピーク時は105.26Mbps

■ MNO大手3社の5G通信速度の比較



- 新規MNO中国広電の速度は利用者の実測データとしてDL395.72Mbps、UL104.94Mbpsとの記事もある

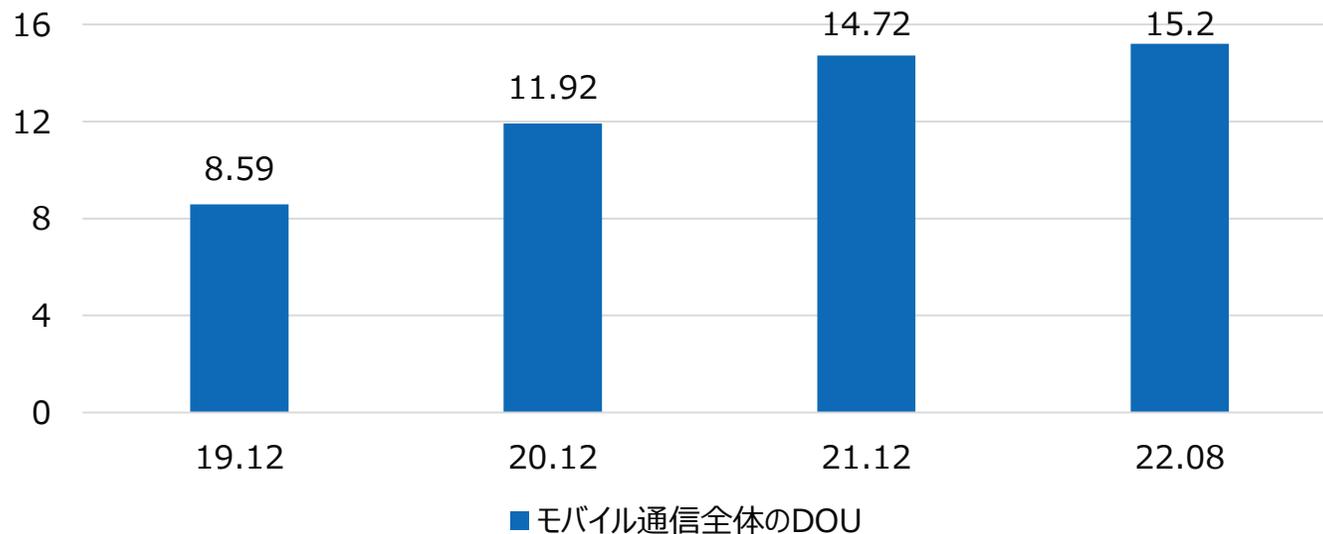
出所：[CAICT](#)、[Sohu](#)、[通信人家園](#)

2-5. 5G概要 データ使用量・5Gデータ使用量

- 2022年8月時点、一人当たりのモバイルデータ使用量（以下、DOU）は15.2GB
- 5G商用化以降モバイル通信のDOUは安定的に増えているが、予測されていたような大幅な増加は見られなかった
- CAICTの調査によると、2022年4月時点の**5G DOUは21GB**で、モバイル通信全体のDOUの1.6倍
- 5Gデータ使用量に関して、政府とMNOは定期的な発表を行っていない

■ 一人当たり平均データトラフィックの推移（モバイル通信全体）

単位：GB



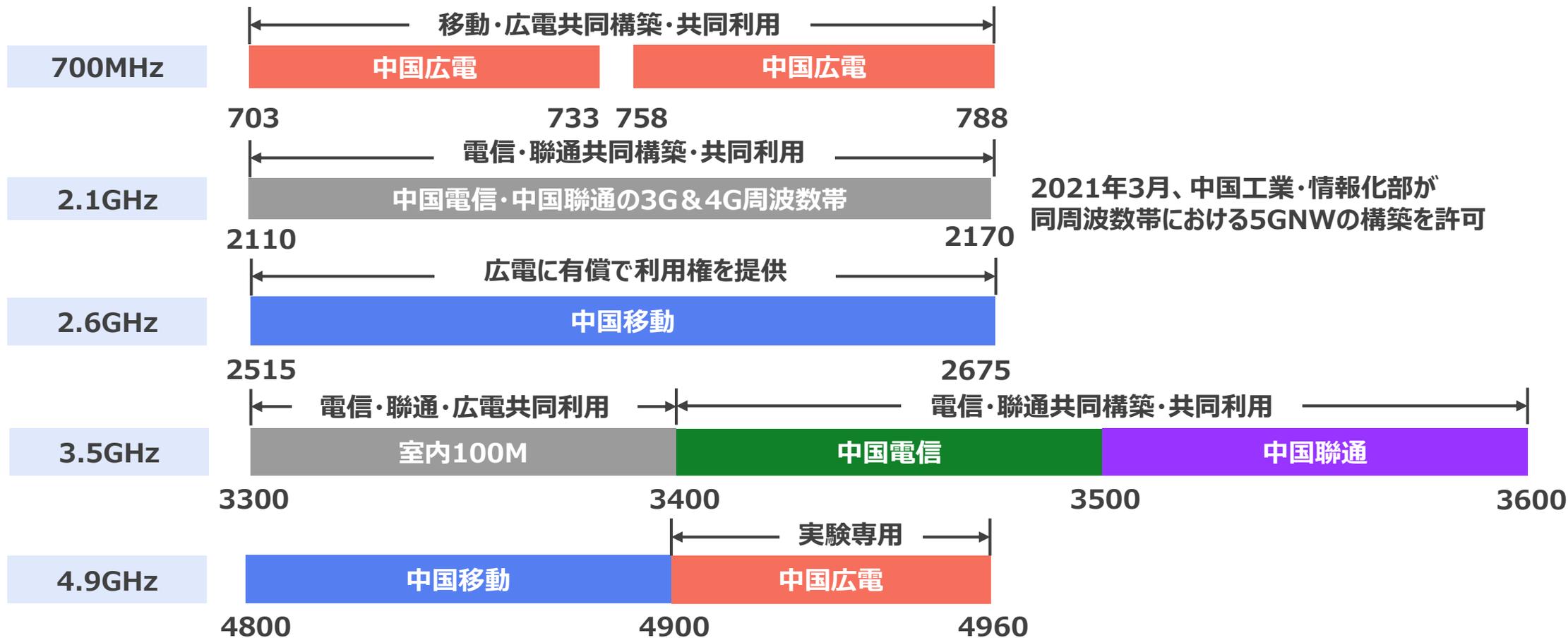
■ 中国通信研究院によるデータ利用増量の施策提言（2022年9月）

- 背景：5G商用化によるデータ利用の大幅増量が見られず、2023年以降4Gから5Gへの移行者も減る見通し
- 施策提言：
 - ①スタジアム、文化旅行、エンタメ、博物館など+メタバースのコンセプトのもとで、「5G+クラウド+XR」の没入型で大量のデータ消費を必要とするサービスを提供
 - ②ショート動画、ライブ動画及びライブコマース、クラウドゲーミングなどを特典内容とするプランの打ち出し、データ利用の増量を誘導

出所：工業・情報化部の定期発表データ、[CAICT](#)、[通信世界網](#)

2-6. 5G概要 周波数

- 中国では、5G周波数はオークションによる割当てではなく、通信事業者の親会社である国有企業に審査制で割当てられる
- 700MHzについて、中国聯通・中国電信は農村地域での共同利用を中国広電に提案するが進まず



出所：工業・情報化部HP、各社IR資料を基にKDDI総合研究所作成

【参考】プライベート5G専用周波数の割当て

- 2021年6月1日から、工業・情報化部は、「産業用インターネットとIoTの周波数利用ガイドライン（2021年度）」に基づき、企業からのプライベート5G専用の周波数割当の申請を開始
法人向けの5Gネットワーク構築につき、公衆網でのネットワークスライス活用がメインであり、企業への周波数割当はそれを補完

■ 分野ごとの専用周波数範囲と指定の利用目的

周波数範囲	申請できる企業の所属分野	指定されている利用目的（システム構築）
223-226MHz、 229-233MHz	電力、ガス、民間防空（civil air defense）、水管理	キャリアアグリゲーションとダイナミック周波数共用技術に基づくBBワイヤレスデータ伝送システム
1447-1467MHz	政府、公共安全、公共サービス、非常事態対応	BBのデジタル基幹通信システム （Digital Trunked Communication System）
1785-1805MHz	交通機関（都市部の鉄道輸送など）、 石油などの産業（電力を除く）	無線アクセスシステムの構築
5905-5925MHz	コネクティッドカー産業	LTE-V2X技術に基づく直接接続通信システム
専用周波数の 利用目的制限	① ネットワークの信頼性、セキュリティ、リアルタイム性、通信伝送速度に特別なニーズのあるユースケースに限定 ② 特にマシンビジョン、データ収集、AR/VR、HDビデオバック伝送など、アップリンク速度のニーズがダウンリンクよりも著しく高いユースケースが求められている	

出所：工業・情報化部「[産業用インターネットとIoTの周波数利用ガイドライン（2021年度）](#)」（2021年6月）

3-1. 5Gサービス コンシューマー向け

- MNO大手3社は2022年の上半期に5G SAに基づいたVoNR通話サービスを開始、高精細のビデオ通話と多様な付加機能が注目を集めた
- その他のコンシューマー向けの5GサービスはクラウドゲームとAR読書があるが、その普及は依然として進んでいない

■ MNO3社のコンシューマー向けの5Gサービス

	中国移動	中国電信	中国聯通
5G通信サービス	5G VoNR	5G VoNR	5G VoNR
クラウドゲーム	MIGU快遊	天翼ゲーム	Wo暢遊
AR/VR	AR読書 (Eブックアプリ)	ARマジック図書館	-

* MNO3社とも自社の動画コンテンツアプリでVR動画、VRライブ中継などのVRコンテンツを無料で提供。

出所：[C114①](#)、[中国移動研究院ブログ](#)、[C114②](#)、[Sohu](#)、[NetEase](#)、CAICT「[クラウドゲーム産業白書](#)」など

3-2. コンシューマー向け 5G VoNR

- 中国移動は4月12日、中国電信と中国聯通は5月17日に、**5G SAに基づいたVoNR通話サービスを商用化**
- これまで通り電話番号への発信を行うだけ（アプリダウンロードが不要）で、高精細のビデオ電話や同時通訳、AR/AIなどの多様な機能を搭載した通話が可能になった（料金プラン内のデータ容量を消費、別途料金不要）

中国移動の5G VoNR



◀通話時にリアルタイムの通訳文書がスクリーンに表示される



◀スクリーン画面の共有によるスマホ操作の指導が可能



◀電話発信時と通話中のARインタラクション



◀物流配送員の電話に発信すると自動的に荷物の追跡情報が表示される

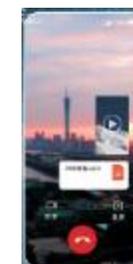
中国電信・中国聯通の5G VoNR



▲自分のXRデジタルヒューマンを使ったバーチャル空間での通話やミーティングが可能



▲通話中にAR効果を加えることが可能



▲通話中に画面シェアしつつファイルも共有できる



▲通話が接続するまでの間、通話相手に自分のビデオ名刺を送ることで、企業や政府のPRを行えるほか、家族間や友人間で親しみを込めた挨拶もできる。通話後は、企業や政府からのRCSでアフターサービスを受けられる。

VoNRの主要なサービス例

- ① 高精細のビデオ通話
- ② 5Gビデオ名刺
- ③ AI秘書
- ④ 5Gビデオのカスタマーサービス
- ⑤ AIによる音声識別と翻訳
- ⑥ 遠隔協力操作
- ⑦ 通話時の画面・ファイル共有
- ⑧ XR通話

3-3. コンシューマー向け クラウドゲーム

- MNO大手3社は2019年6月にクラウドゲームサービスを開始（スマホ、TVセットトップボックス、PC、VR端末に対応）
- スマホゲームをメインとして提供するが、スマホでPC向けゲームを低遅延でプレイするユースケースが最も人気
- **5G利用者にはクラウドゲームのメンバーシップ料金を無料にするなどの5G加入誘導策も実施**

中国移動 MIGU快遊



- タイトル数：2000本超
- 一日あたりの無料プレイ時間：1時間

種類	料金	時間制限	プラン外料金
中国移動利用者月額	9.9元	30時間	3元/時間
一般利用者月額	29.9元	20時間	
四半期額	79元	60時間	
年額	289元	240時間	

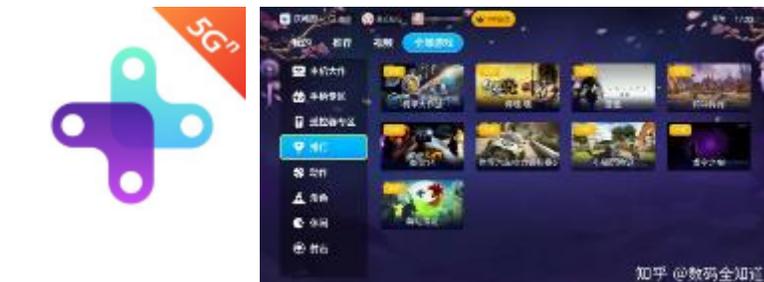
中国電信 天翼クラウドゲーム



- タイトル数：800本超
- 一日あたりの無料プレイ時間：30分

月額料金	時間制限	プラン外料金
9.9元	6時間	5元/時間
19.9元	13時間	
25元 (5G利用者のみ)	20時間	

中国聯通 Wo暢遊



- タイトル数：PCゲーム10本、スマホゲーム260本
- 一日あたりの無料プレイ時間：なし

月額料金	時間制限	プラン外料金
15元	PC5時間、スマホ無制限	2元/時間
20元	PC12時間、スマホ無制限	
30元	PC20時間、スマホ無制限	

出所：CAICT「クラウドゲーム産業白書」、各社クラウドゲームアプリ、Zhihuを基にKDDI総合研究所作成

3-4. コンシューマー向け AR読書

- 2022年4月、中国電信は3D動画とAR技術を活用した新たな「ARマジック図書館」サービスを開始し、子供に面白い読書体験やインタラクティブ式の言語教育、論理的思考力の教育を提供（サービス月額10元、**5G利用者は半額**）
- 同月、中国移動は自社のEブックアプリで児童教育向けのAR読書サービスを無料で提供（他社ユーザーも利用可能）

中国電信の「ARマジック図書館」



サービス概要：

- ① BERTELSMANN、OXFORD など著名な出版社の書物 AR&3D化（数百本）
- ② ARによるインタラクティブ
- ③ 子供の読書習慣の形成、語彙力、観察力及び記憶力の向上のためのARゲーム

料金：月額 10元

- 年間契約の場合：月額8元
- **5G利用者の場合：月額5元（年間契約は月額4元）**

中国移動のAR読書



サービス概要：

- ① VR/AR/XRインタラクティブのある読書
- ② 5G + AIの書籍朗読
- ③ ホログラフィックでの書物内容の視聴
- ④ 中国の神話、昔ばなし及び児童書物が主要内容

料金：中国移動のEブックアプリの利用者には無料で提供（他社ユーザーも利用可能）

出所：[Sohu](#)、[NetEase](#)、[C114](#)、中国電信と中国移動のコンテンツアプリ

- 中国MNOの法人向けの**5Gサービスは、政府政策の影響でプライベート5Gを用いた産業インターネットの構築に集中**
- MNOが提供するプライベート5Gサービスはデータセキュリティと通信を確保するほか、企業DXをサポートするサービス内容を標準化・モジュール化する傾向にある

5G+産業用インターネット

- 中国工業・情報化部は法人向け5Gサービスの焦点を「5G+産業用インターネット」に当てている
 - 重要視されている発展分野：5GNWの品質向上、5Gチップ、モジュール及び端末などの良質な技術商品の開発、産業用インターネットのモデルプロジェクトの開発、及び5G関連の用地、電力と人材の確保など
- 2022年6月迄に**構築済の5G+産業用インターネット・プロジェクトは3100件**に達し、製造、鉄鋼、鋳業、電力、交通、エネルギーなど40以上の重要産業分野をカバー
- 2023年までの発展目標：5Gフルコネクテッドファクトリーの構築、高品質の5GNWを利用する工業アプリを50万件開発、10の産業用データセンターを構築すること等

出所：工業・情報化部、[央広網](#)、[Sohu](#)など

プライベート5G

- 2022年6月迄に構築済のプライベート5Gネットワークは8500件超（うち、中国移動4000件超、中国電信2500件超、中国聯通2000件超）
- 中国工業・情報化部：仮想型のプライベート5Gは産業用インターネット普及のための重要な手段
 - 2022年は製造業、鋳業及び電力などの分野に重点を置き、プライベート5Gをベースとする産業用インターネットが利活用されるシーンを深掘して模索
 - 重点分野のサプライチェーンにある企業に産業データを公開し、産業用のデータ取引市場を構築
- MNOが提供するプライベート5Gはデータセキュリティと通信を確保するほか、企業のインテリジェント化をサポートするPFに進化
 - サービスの標準化・モジュール化は今後のトレンド

3-6. 5G法人向けサービス事例（2022年）

- 2022年3月、GSMAはtoB向けの5Gサービスの普及を後押しすることを目的として、2022年の中国5G利活用事例集を公表（スマートシティ、スマート製造とスマート鉱業分野）
- 以下のユースケースは5G SAネットワークのスライシング技術により提供

5Gスマートシティ

深圳南山5Gスマートシティ	都市全域のIoTセンサーと行政サービスのDX
広州5Gスマート地下鉄	5GNWによる地下鉄の運行、メンテなど
麗水5G緊急対処システム	5G+クラウド+衛星通信で災害を予測、対処
広州5G病院前救急	5G通信による救急情報の伝送と遠隔指導

5G+スマート鉱業

吕梁鑫岩：5Gスマート鉱山	従来の地下の作業は全て遠隔操作で完結
内モンゴルエネルギーグループ：5Gスマート鉱山	ドローンによる3D高精度マップで正確な5GNWの構築、鉱山作業のDX（無人運転、AR遠隔操作、ビッグデータPFなど）
焦煤：5Gエコ無人鉱山	5G+無人運転と遠隔操作で効率アップ
攀鋼：5Gリモートマイニング	危険度の高いマイニング作業を機械で実施
大海則：700MHz+2.6GHzNW	鉱山の坑井内と地上の全域を5GNWでカバー

5Gスマート製造

ZTE：5Gスマート製造団地	5G+MECで注文&原材料&製品運送を自動化
Media：5G100%アクセス工場	工場全設備を5GNWに接続し、生産プロセスと設備メンテの自動化と遠隔操作を実現
GREE：5G+MECスマート工場	5G+MECとIoT、マシンビジョンとの掛け合わせで、生産と検品の自動化と生産の安全性を実現
5GロボットアームのNW化	5GNWにロボットアームを接続することで、生産ラインの交換時間を60%削減
広州5G+石油化学工場	工場全体を5G+AI+ビッグデータ分析で管理し、事故率を20%、有害物質の排出を30%削減
馬鋼：5G+MEC製造工場	5G+MECで工場運営のDXと省エネを実現
柳鋼：5G+スマート鋼鉄製造	5Gによる機械の遠隔操作で危険な作業を実施

出所：GSMA「[5G in Verticals in China 2022](#)」（2022年3月）

【参考】5G法人向けサービス事例（2021年）

- ・ 工業・情報化部は毎年5Gサービスのコンテスト「ブルーム杯」を開催し、大規模商用化の潜在力のあるユースケースを選出
- ・ 以下のプロジェクトは、2021年に行われた第四回「ブルーム杯」において、一等賞を獲得したもの

プロジェクト名	概要
ローカル5Gに基づく野外石油・ガス探査スマートシステム	世界初のローカル5Gに基づく大規模な野外石油・ガス探査を実現できるスマートシステム
ZTEの5Gスマート工場	企業用ローカル5G + 共同製造プラットフォーム + 5Gの工業への応用からなる総合ソリューション
福田市における5G+MEC+AIに基づく健康都市	5G+MEC+AIの全プロセスクローズドループ管理体制に基づき、医療データ・システムのオンライン・オフラインを一体化させるプラットフォーム
ローカル5Gに基づくスマート鉱山	鉱山専用5G基地局の構築、リアルタイムの相互接続と共同制御を実現
5G-all-connected鉄鋼工場	ローカル5Gによる全設備の接続を実現
量子 + 5Gに基づく刑務所の緊急対応	5Gと高レベルのセキュリティの確保
スマートシティにおける5Gスマート医療と緊急救援救護プラットフォーム	5GにIoT、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、AI、エッジコンピューティングなどの先端技術を掛け合わせた、院内救急協同、国家緊急医学救援、救急専門区域品質管理を一体化した緊急医学救援救護プラットフォーム
5G + MECに基づくVRエコー教育	5G + VRで産婦人科のエコー検査教育を実現

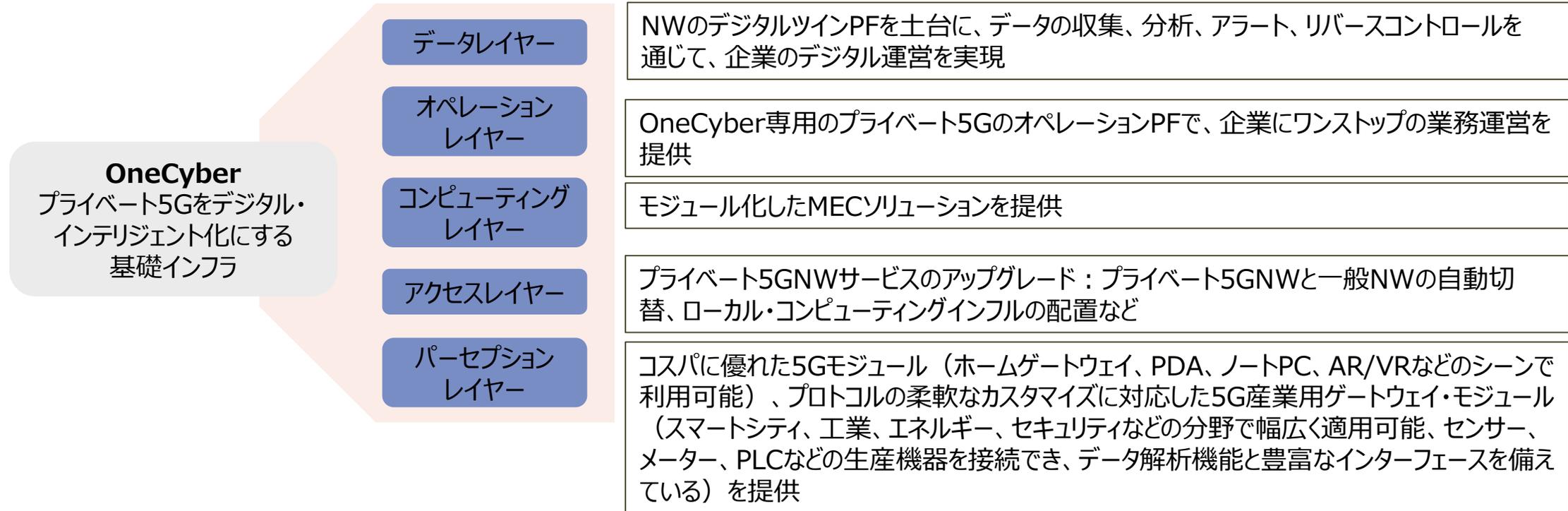
プロジェクト名	概要
5G+スマート新幹線の通信ソリューション	車載サスペンション設備の緩み防止検出、超視距離警報車載設備の自動運行・メンテを実現
5G+スマート工業セキュリティ	クラウド防御システム、5G通信のセキュリティ確保
スマートシティの都市管理	行政サービスのプライベート5Gで政務管理をカバー
鉄鋼工場遺跡の5Gクラウド+XR見学	5G+XRによる工業遺跡公園のクラウド見学
5Gによるエネルギー企業の効率化	スマート採掘、巡回ロボット、4K高精細カメラ、スケジューリングプラットフォームなど
行政サービスの全分野をカバーする5G RCS	5G RCSによる行政手続きの簡潔化
5G+スマートガス網	5G+デジタルツイン技術でガスの安全管理を行い、都市公共安全ソリューションを構築
5Gスマート電力網の大規模商用化	国産軽量化5Gチップを搭載し、電力網の発電、送電、変電、スケジューリングなどの全段階をカバー

出所：工業・情報化部（2021年12月）

【参考】中国移動 プライベート5Gプラットフォーム「OneCyber2.0」

- OneCyber2.0は、製造工場、鉱山などの18の分野において、標準化・モジュール化したプライベート5Gの商品とサービスを提供できるプラットフォーム
- 応用と商品開発のカスタマイズ化が可能で、プライベート5G全体の開発コストも削減できる

■ 中国移動の「OneCyber2.0」の構造

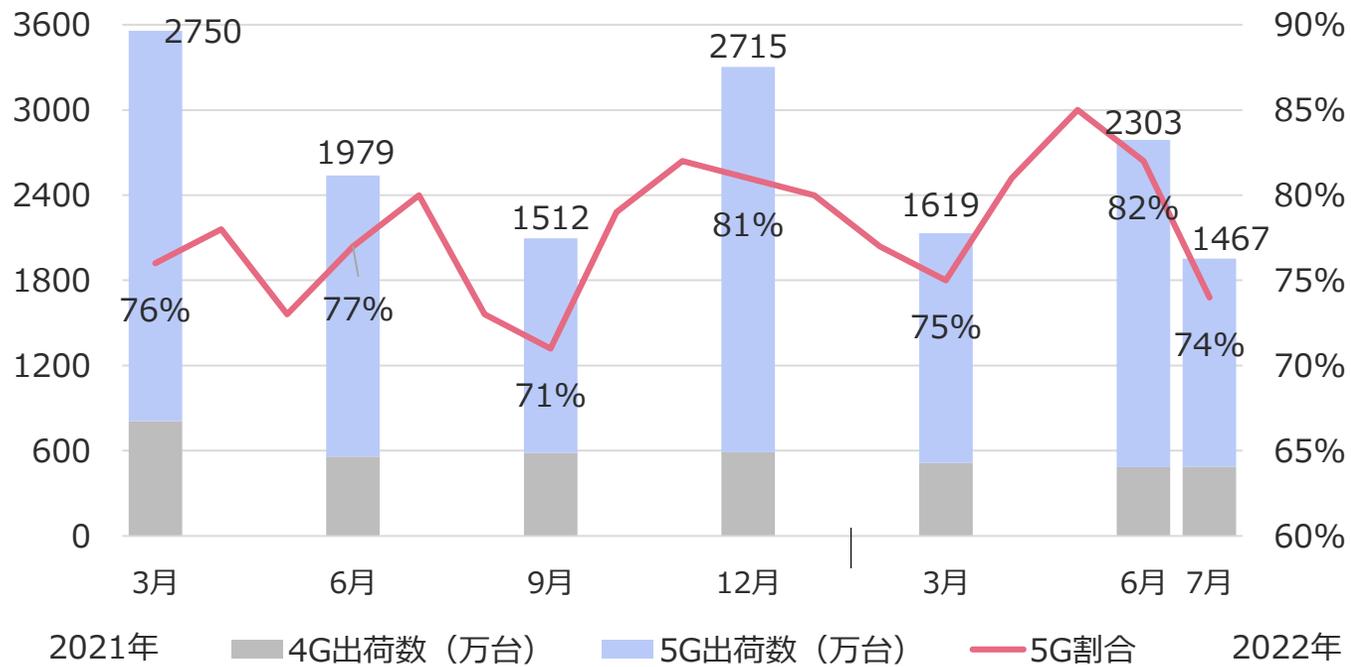


出所：[C114](#)

4-1. 5G端末①

- 2022年7月末時点で、5G端末累計出荷数は5.53億台（うち2022年は1.24億台）
2022年から5G端末市場の伸びは、チップ不足、スマホ買替周期の長期化及び消費者に好かれるスマホ機能のイノベーション不足により鈍化しつつある
- 1500元未満のローエンド機の発売が5G普及に寄与した可能性がある（2022年9月時点の低価格5G端末は約52機種）

■ 2022年7月時点での5G携帯電話の出荷数と割合



■ 中国で流通する5G携帯電話の規格要求

- 5G SAへの対応必須：2020年1月以降発売の端末。同年5月17日以降NW接続申請を行う5G端末はデフォルトで5G SA機能Onを必須とした（中国工業・情報化部）
- 中国移動による5G端末への規格要請：2021年10月1日以降発売する全ての5G端末について700MHzとVoNRへの対応を求めた（ただし、政府からの要請はない）

出所：CAICT、ZOL価格比較HP、工業・情報化部HP、前瞻研究所など

4-2. 5G端末②低価格5G端末（代表例）

- 主な5G端末メーカー：Huawei、ZTE（Nubia）、OPPO（OnePlus）、realme、vivo、Xiaomi、Samsung、Apple、Motorola、DOOV*¹、Gionee、Xiaolajiao*²、**MNO大手3社も低価格5G端末を打ち出し**
- 2022年9月時点の最廉価端末：vivoはiQOO U5xを2022年3月に899円で発売（JDオンライン販売849元）

端末名称	中国電信 天翼1号2022	中国移动NZONE S7Pro 5G	中国聯通 優畅享30e	vivo iQOO U5x	Xiaomi Redmi Note11 SE	ZTE 遠航30S	realme V20
公式HP定価	1449元	999元	899元	849元	998元	999元	999元
外観イメージ							
発売時期	2022年6月	2021年6月	2022年7月	2022年3月	2021年11月	2022年8月	2022年6月
RAM+ ROM(BG)	6GB+128GB	8GB+128GB	4GB+128GB	4GB+128GB	4GB+128GB	4GB+128GB	4GB+64GB
チップセット	Unisoc T770	MediaTek 700	MediaTek 700	クアルコムSD680	MediaTek 700	Unisoc T760	MediaTek 700

*¹ DOOV：中国語で「朶唯」といい、中国の元祖女子スマホメーカーである

*² Xiaolajiao：中国語で「小辣椒」といい、小さい唐辛子の意味。中国の格安スマホメーカーである

出所：各メーカーHP、[京東 \(JD\)](#) ウェブサイト

5-1. 5G料金プラン

- データ容量の等しいプランを比べると、中国広電の5G料金は大手3社よりやや低い価格帯に設定され、商用テスト期間中は新規利用者にさらに約40%オフの料金割引を適用し、顧客の獲得に向け積極的に競争する狙いがある
- 中国移動は4Gの基本料金プランに上乗せできる5GパッケージやコンテンツOTTとコラボした5Gプランも用意し、5Gへの移行を誘導

■ MNO4社の5Gプラン

データ容量	中国移動		中国電信		中国聯通		中国広電	
	月額料金	通話分数	月額料金	通話分数	月額料金	通話分数	月額料金	通話分数
398GB	-	-	-	-	-	-	588元	1600分
300GB	598元	3000分	599元	3000分	599元	3000分	-	-
230GB	-	-	-	-	-	-	388元	1000分
150GB	398元	1200分	399元	2000分	399元	2000分	288元	700分
100GB	298元	800分	299元	1500分	299元	1500分	228元	600分
80GB	238元	600分	239元	1000分	239元	1000分	188元	400分
60GB	198元	500分	199元	1000分	199元	1000分	158元	200分
40GB	158元	300分	169元	800分	159元	500分	118元	200分
30GB	128元	200分	129元	500分	129元	500分	88元	100分

■ サブ回線の追加(メイン回線のデータと音声時間を共用)

- 中国電信：2回線まで、1回線追加10元/月
- 中国広電：
 - ①サブ回線を追加する場合に、メイン回線の料金に10元を上乗せする、回線数無制限
 - ②家族回線は3回線まで無料（4回線目から1元/回線・月）
 - ③家族以外の一般サブ回線の月額料金は1回線10元/月

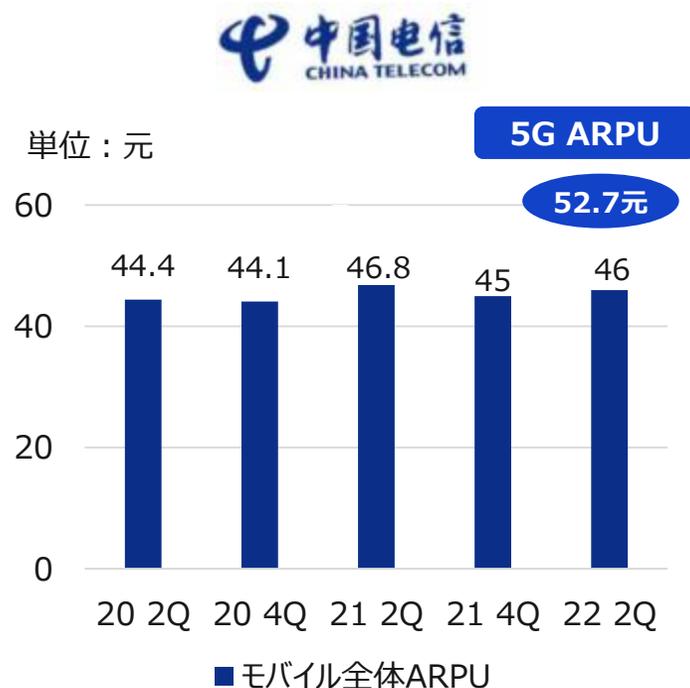
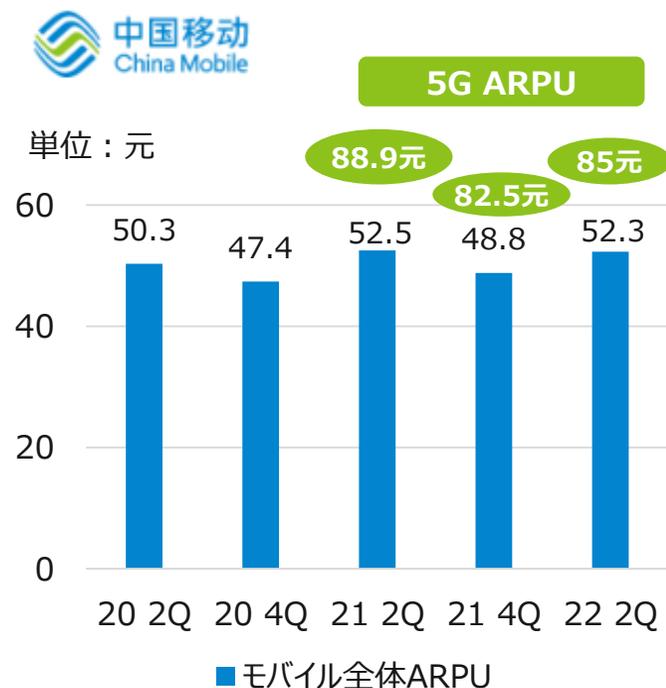
注：5Gデータ単価は3元/GB

出所:各社のHPと公式アプリを基にKDDI総合研究所作成

5-2. ARPU推移

- 2022年上半期のモバイルARPUについて、中国移動と中国電信は前年同期比小幅増、中国聯通は横ばい
- 5G ARPUについて、中国移動は前年同期比4.4%減の85元で、中国電信は28.8%急減の52.7元（中国聯通発表なし）
- 中国電信の全体ARPU低下要因について、一定期間の無料・割引提供や、1契約に複数回線を提供して分母が大きくなっていることなどが想定される（固定回線プラン加入者に無料で5GSIMをバラマキしたことが5G ARPUの下落原因の一部）

■ 中国MNO3社のARPU推移



出所：各社のIR資料を基にKDDI総合研究所作成

5-3. 中国移動 5G促進パッケージ「5Gパス」

- 「5Gパス」は、既存利用者の4Gプランに上乗せできる、低価格で5Gを体験できるパッケージ商品
- 適用対象は、中国移動のM-Zone料金（若者やZ世代向けの料金プラン）契約者のうち、月額料金が39元以上の利用者
- 25歳以下の利用者は月額料金が39元以下でも「5Gパス」に加入できるほか、「5Gパス」料金が30%オフになる

■ 5Gパスのパッケージ内容

パッケージ月額	データ通信量	その他特典
15元パス	5GB	<ul style="list-style-type: none"> • VRコンテンツ無料視聴 • クラウドストレージ（2TB）
30元パス	10GB	<ul style="list-style-type: none"> • VRコンテンツ無料視聴 • クラウドストレージ（2TB） • 人気アプリメンバーシップ無料（指定範囲のうち1つを選択）
50元パス	20GB	<ul style="list-style-type: none"> • 人気アプリ利用時のデータ無料通信（40以上のアプリ、上限200GB）

* データ無料通信の特典に含まれているアプリのいずれも人気OTTアプリ：TikTok、テンセント動画、Iqiyi（動画市場シェア一位）、快手、NetEase音楽、Bilibili、タオバオ、Youku、Baidu、MangoTV（動画）、Himalaya、NetEaseゲーム、闘魚、及び、中国移動の子会社MIGUが提供しているエンタメアプリなど

出所:中国移動アプリ、Sohuを基にKDDI総合研究所作成

■ 5Gパスの内容説明画面と販促キャンペーン画面（非定期で初月料金無料のキャンペーンも実施）



5-4. 中国移動 ARPU向上施策

- 中国移動は5G加入者に自社開発のコンテンツ（音楽、動画、電子書籍やAR/VR体験など）の無料利用を提供することで、5Gプランへの移行を促進。4Gプランに比べると、5G料金プランが高く設定できている分、ARPU増をもたらした
- 5G利用者向け → コンテンツサービスの無料利用をアピール、5Gサービスとコンテンツサービスのシェア拡大を狙う

■ 5Gプラン利用者へのコンテンツサービスの提供方法



コンテンツサービスの優待をアピール

- 毎月中国移動のパートナーが提供しているコンテンツサービスから1つを選んで会員費無料で利用可能
- 契約期間中、中国移動が提供しているコンテンツサービス（動画、ゲーム、音楽）の会員費が無料



▲ 料金プランの紹介画面で選ばれるパートナーOTTサービスをアピール



▲ 中国移動の動画コンテンツ見放題（NBAなどのスポーツ試合の視聴も含む）、月間20時間クラウドゲーム、音楽聞き放題が利用可能

出所：中国移動5GプランHP、中国移動4G大容量データプランHP



KDDI Research

本レポートに関するお問い合わせは以下よりお願いいたします

<https://www.kddi-research.jp/inquiry.html>